

委員会意見要望及び当局処理状況（3月定例会）

R元. 6. 7

議案番号	件名	提案年月日	議決年月日	審査委員会	要望意見	担当課	処理状況
第22号 議案	平成30年度豊岡市一般会計補正予算（第11号）	31. 2. 22	31. 3. 26	予算決算委員会	<p>「森林整備地域活動支援交付金の自主返納」について、今回の補正予算で624万円の返納の予算があがっている。</p> <p>森林整備については、多額の補助を受けて森林計画を作成し、間伐等も実施するというものであった。しかし、計画だけが策定され間伐事業は行われていないとの指摘を受け自主返納が求められた。</p> <p>多額の公費を使いながら、非常に甘い事業推進と言わざるを得ない。山林を多く抱える本市にとって、山林の再生ということが大きな目標となっている中、中途半端な事業になったことを大いに反省し、今後このようなことのないようチェック機能を十分発揮されたい。</p>	農林水産課	<p>今回の返還は、①経営計画作成促進の取組みにおいて、森林経営計画の期間内での間伐施業が確認されなかったこと。また、②施業集約化の促進において、地域活動実施翌年度末までに間伐施業が実施されなかったためである。</p> <p>今後は県、市及び実施主体合同で、次のことを実施することにより再発防止を図る。①事業実施前に県、市及び実施主体合同での事業研修会を開催すること。②事業工程表でもって県、市及び実施主体で情報共有を図り、執行状況を管理すること。③県が改正した「森林整備地域活動支援事業事務処理要領」に基づく確認行為を行うこと。</p>

第32号 議案	平成31年度豊岡市一般会計 予算	31. 2. 22	31. 3. 26	予算決算 委員会	「乳幼児等医療費助成事業費」及び「こども医療費助成事業費」について、県下市町の状況を踏まえて、当局がその必要性を認識することがまず第一であり、今後さらに前向きな研究、検討を積極的に進められたい。	市民課	「乳幼児等医療費助成制度」及び「こども医療費助成制度」については、2016年7月から制度を拡充し、実施しているところである。 さらなる拡充については、制度の根本的なあり方についての判断を踏まえつつ、社会経済情勢並びに本市の財政的な負担能力等を鑑みながら、研究を進めて参りたい。
					「生涯学習サロン整備事業費」について、当局から新築整備の方針が示されたが、基礎工事、施設規模等について、具体的な内容は明確に示されていない。 改修を前提として中古物件を購入したが、不同沈下が発見されたことに伴い、整備方針の変更を余儀なくされ、その結果多額の経費が発生すると見込まれる。 総事業費の適正化を検証し、施設の利活用についても十分検討され、中心市街地の活性化に結びつくよう事業の推進を図られたい。	生涯学習課	関係団体等と調整の上、規模の適正化を図るとともに、中心市街地の活性化に努める。

				<p>「幼児教育・保育の無償化」について、幼児教育・保育の無償化によりさらなる保育ニーズの高まりが見込まれる。</p> <p>保育士等の確保や施設のあり方について、乳幼児人口の将来推移を見通すとともに、保護者や現場の声、市民の意見等を十分に反映した事業の推進を図られたい。</p>	こども育成課	<p>児童数及び保育ニーズ等の将来推計から見えてくる課題の洗い出しと、その課題を解消するための対策について、保護者、就学前施設職員、区長連合会の代表者及び学識経験者などで構成する「豊岡市子ども・子育て会議」において検討を進めている。</p>
				<p>「プレミアム付商品券事業」について、消費税増税に伴う消費の落ち込みを少しでも緩和させる事業である。消費者が利用しやすく、また参加される商店等の負担が極力少なく、かつ地域的なバラつきもできるだけ偏りがないようなスキームを考えられたい。</p>	環境経済課	<p>次のような内容、方針で事業を進めていく予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得者・子育て世帯（0～3歳半児）を対象に額面 25,000 円の商品券を 20,000 円で販売する。</li> <li>・低所得者に配慮し、500 円券 10 枚綴り（5,000 円）を 1 セットとし、分割販売（最大 5 回）も行う。</li> <li>・販売窓口は、市役所本庁及び各振興局に置く。</li> <li>・商品券利用協力店舗は、商工会議所、商工会を通じて市内から広く募集を行う予定。</li> </ul>

				<p>「バイオマスタウン推進事業費」について、バイオマスタウン構想のもと、国等の多額の補助金を使い豊岡産ペレット生産拠点として、北但東部森林組合が株式会社豊岡ペレットを立ち上げたが、本年8月末のペレット製造の中止は、大変残念なことである。</p> <p>すでに導入されたストーブ、ボイラーへの今後のペレット供給については十分に検討し、安定して継続使用ができるよう配慮されたい。</p> <p>また、森林環境譲与税についても、本来の目的に沿って十分検討した上で、今後の展開を図られたい。</p>	農林水産課	<p>ペレット製造の終了は、北但東部森林組合の経営判断に基づくもので致し方ない面もあるが、既に公共施設を中心に導入されたペレットストーブ及びペレットボイラーへの今後のペレットについては、市外からの供給を視野に、引き続き使用できるよう北但東部森林組合とも調整を図ることとする。</p> <p>また、未利用間伐材の朝来バイオマス発電所への供給に伴う、北但東部森林組合への設備等導入支援については、森林環境譲与税の用途目的に合致するものであるが、より公的な管理を始めとする森林整備等の財源として活用すべく検討を重ねることとする。</p>
--	--	--	--	--	-------	---

					<p>「コウノトリとよおか寄付金の推進」について、本市のふるさと納税額は、近年減少傾向にある。品目やPR方法の見直し等をさらに進めるなど、増加に向けての一層の努力を傾注されたい。</p>	<p>環境経済課</p> <p>寄付窓口を拡大し、寄付金額の増加に繋げるため、2019年5月から「さとふる」を追加した。(①ふるさとチョイス、②楽天ふるさと納税、③Wowma!ふるさと納税、④さとふるの4つの寄付窓口で受付を行う。)</p> <p>今後は、寄付者への訴求力を高めるため、返礼品写真等Webページの見せ方向上を図る。</p> <p>また、市内事業者と連携し、寄付額10,000円程度の価格帯の特産品や、障害者福祉事業所の授産製品等を追加するほか、市内の宿泊施設利用券の拡充を図るなど、返礼品数を増やす取組みを進めていく。</p>
--	--	--	--	--	---	---

				<p>「コウノトリ育むお米の販売促進」について、コウノトリ育むお米の海外展開はもとより、国内販売についてもより積極的に推進されたい。</p>	<p>農林水産課</p>	<p>コウノトリ育むお米の販売は、実販売をJAたじまが、生産背景等の情報発信を豊岡市が担い、消費者向けと実需者向けの両輪で、国内販売を主軸として推進することとしている。</p> <p>1 消費者向け</p> <p>新たなファンの獲得と既存消費者の維持を図るため、店頭販売キャンペーンや、田植え・稲刈り体験交流会などを活用し、豊岡型環境創造型農業の情報発信を行う。</p> <p>2 実需者向け</p> <p>新規取扱事業者の獲得と既存取扱店舗での優位販売を図るため、実需者向けパンフレットや、コウノトリ野生復帰映像などのツールを効果的に活用し、実需者商談会などで情報発信を行う。</p>
--	--	--	--	--	--------------	---